



NPO法人 あすみが丘国際交流

Newsletter



No.90 2022.12.27 発行 会員数 797 名 (2022.2.13 現在)

住所 〒267-0066 千葉県緑区あすみが丘 4-1-6 エクレール土気 101

TEL/FAX : 043-294-9551 E-Mail : aifs@eastcom.ne.jp

<https://www.npo-aifs.org/>

ロシア・ウクライナ戦争が長期化していく中で、エネルギー・食料危機をもたらしかねないほどに世界の協力体制は危ういものとなっています。地球温暖化に対する対策は待ったなしだといわれる中、いったい我々に何ができるのか、感じるのは無力感や焦りばかりです。今回は森を復活させるというプロジェクトが我々のおひざ元であるあすみが丘でも、緑の環・協議会により進んでいることを取り上げてみました。小さな一歩、ささやかな一歩、でも事はその一歩からしか始まらないものだと思います。

あすみが丘再発見 ～”苗木の森プロジェクト“元の水源涵養林に～



2005 年グーグルマップ

出典
グーグルマップの航空写真から取ったスクリーンショットを比較したものです。
Maps Data : Google, © 2005 M
aps Data : Google, © 2019



まだ苗木ばかりですが森が復活しつつあります。

ここ、あすみが丘にも東急 700 ゴルフ場のすぐ脇に違法な山砂採取で森が皆伐され大穴となって残された土地があります。その荒廃した土地を元の水源涵養林に戻そうと、有志で苗木の植林とお手入れを続けてきて、今や 3000 本の苗木が植えられています。当時の GOOGLE 航空写真と現在と比べればその違いは一目瞭然で、苗木しかない森ですが新しい森の形が見えてきたところです。

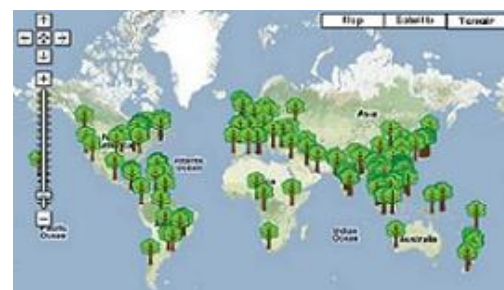
この経緯は 2006 年頃に違法な山砂採取がなされ、森が皆伐され土が運び出されてしまいました。違法ですから原状復帰命令は出ていましたが、業者が逃げてしまい放置されていました。そこへ別の業者が産業廃棄物の最終処分場を造ることをもちかけ、市がそれをパブリックヒアリングにかけたわけですが、あすみが丘の全自治会や周辺自治会の反対運動が起こりプロジェクトは動かなくなりました。競売にかけられた物件を、地元の農業団体である板倉・大椎土地改良区が産廃業者に競り勝って買収することができ処分場の建設はストップとなりました。しかしながら処分場の建設が止まっただけではただの大穴が残っただけです。土に苗を育てる養分もないし金も人手もないという三重苦の中で緑の環・協議会が設立され、多く

の方々の助言や支援に助けられ最初の苗木植林がスタートしたのが 2008 年のことです。様々なイベント企画を行いました
が印象深いのが 1000 の苗プロジェクトとグリーンウェイブです。

「1000 の苗プロジェクト」では、参加者に地元の公園や裏山でどんぐりと落ち葉を拾ってもらいました。どんぐりは苗ポットに播
いて参加してくれた子供さんに持ち帰ってもらい苗として育てる里親になってくださいという企画でした。潜在自然植生である
地元の樹木のどんぐりから 1000 の苗を育てて植えましょうという企画です。一方落ち葉は堆肥場に敷き詰め落ち葉のプ
ールにして遊び、できた堆肥で不足する養分を補おうという試みでした。翌年の 5 月にはたくさんの苗木を持って多くの親子が
かけつけてくれましたし、落ち葉堆肥の中からはたくさんのカブトムシの幼虫が見つかり子供たちに喜んでもらえました。そして
届けられた苗木は本当に 1000 本以上あったのです。



また、グリーンウェイブとは生物多様性の日（5 月 22 日）に世界中で現地時間の 10 時に植林や水遣りを行うことで祝
おうという国連が提唱する運動です。時差によって世界中の人による活動が地球を一周する緑のウェイブに例えられてい
るものです。また国連の H P にこのページがあり参加団体はツリーを登録し地
球上にウェイブが起こる様子をバーチャルですが目の当たりにすることができ
るようになっていきます。ツリーごとに写真や報告もアップされるようになっていま
す。毎年のグリーンウェイブ活動で参加者に呼びかけているのは、「この活
動は千葉の片田舎の活動だけれど、世界中で行われているウェイブの中
の一環であり、地球全体でサステナブルな社会を作ろう」という活動の一端
を担っているという誇りを持ってやりましょうという事です。



グリーンウェイブをバーチャルで確認できる

活動を続けていると思いきや知らされるのは「植林するのは簡単だがメンテナンスはその何倍も大変だ」という事です。養分があ
る土を全てはぎ取られてしまったこの土地に苗が根付けるのか大いに心配されたわけですが、今では活動が雨で飛んだりする
とあっという間に雑草のジャングルになってしまいます。アンコールワットが密林に飲まれたという言葉をご記憶させます。ジャングル
になってしまわないためにはお金と人手が必要です。

お金は補助金を獲得することでやりくりしてきました。ご協力いただいたのはセブンイレブン、東京ガスさんなどの 14 の法人
や公共団体さんです。毎年獲得のために奔走してきましたが、これも競争ですから落選となる年もありました。そんな中でも
2014 年に「生きものにぎわい活動大賞のアステラス賞」（写真右）をいただいたのは特筆すべ
きことです。副賞の賞金もいただいたので少しは財政がうるおうかと期待されたのですが、この年
の大雪により壊れたビニールハウス（倉庫 & 活動拠点）を立て直すことで消えてしまったのは
残念でした。逆にこの賞金がなければつぶれたハウスのままだったともいえます。



人手につきましても、全然足りていません。志ある大学生・高校生・企業の従業員さんグル
ープが遠くから馳せ参じてくれることもあります。しかし、苗木も大きくなったので枝打ちや間伐が
必要ですし、手を入れてきたおかげで肥沃になってきた土地ではますます雑草の除去がたいへん
となり人手はいくらあっても足りません。自然に囲まれた環境で体を動かすのは案外楽しいもの
で、ボランティアを始めるにはお手頃な場所です。皆様のご支援をお待ちしています。

<認定 N P O 法人緑の環・協議会>

連絡先：金井章男 090-1874-0003 sakasu33@hyper.ocn.ne.jp 星野静枝 090-5494-9343



花いっぱい活動

あすみ大通り道路樹花壇の花苗植付け



当日集まったボランティアは土気校生 3 名、ALT 英語教師のエリザベス先生（米国）を含む総勢 18 名。年齢は 16 才から最高齢者 85 才と実に多彩。当日は朝より雲が広がり、作業開始直後はポツポツ雨が落ちだし心配しましたが、その後天気は持ち直し曇天ではあるが無事植付け作業を完了することが出来ました。今年 5 月に植えたサルビア、日日草、ガゼニアに替えてノースポール、パンジー、シロタエギクの計 * 250 株を約 1 時間半で植付けました。最後は花苗の順調な生育と来年春までの花園を願いながらたっぷり散水して作業を終えました。

尚、今回は花壇の古株除去、床土の天地返し、培養土の混入等事前準備作業は AIFS 役員で行いましたが、是非次回より一般ボランティアの方にも参加頂けるように企画したいと思います。また、来年 5 月の次の植替えに際し、今回植えた花株を希望者にお持ち帰り頂ける無料配布コーナーの設置を検討する予定です。

(* 内、約 200 株は市の助成制度を活用し、無償配布を受けた。)

駅前フラワーポット植え替え

一週間前に行った花壇の花植えの時とは打って変わって、快晴無風の絶好の花植え日和。11 名のボランティアが集合。各ボランティアは割り当てられた大型フラワーポット計 8 基にパンジー 19 株の入ったトレイを持って行き、植付け作業を開始。まず穴を掘り、色とりどりのパンジーの苗を入れて株元まで土で埋め戻し。最後はジョウロで水遣りをして作業終了。うらかな秋晴れの下、凡そ一時間の快適な作業でした。作業終了後、近くのハンバーガー店のテラス席を借りて慰労を兼ねてお茶会を実施。国際交流コミュニティのあり方や街かど花いっぱい運動についてフランクな意見交換をしました。

小林



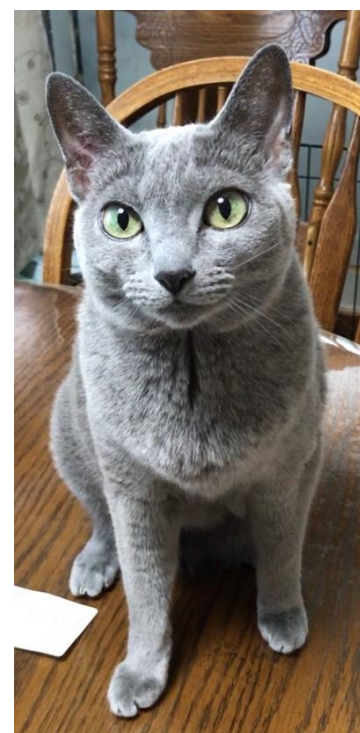
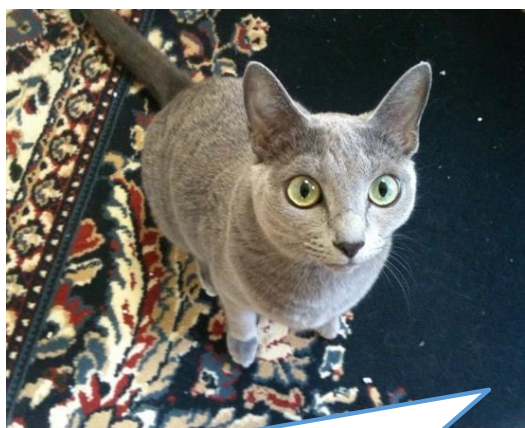
プラザまつり出店報告

11月27日(日)、第28回プラザまつりが行われました。あすみが丘国際交流では「世界を見る眼」と題し、展示とプレゼンテーションを行いました。展示はAIFSの今までの活動や、平和、SDG sを意識したパネル、会員の田川さんご夫妻作成の「十二支の動物たち」や「ジブリ」をはじめ、ボランティアによる手作り品、土気高校工芸部の陶器などがズラリと並びました。田川さんご夫妻の陶器ディスプレイの筆頭には、沖縄の国際通りの象徴、守り神のシーサーが構えられました。あすみが丘国際交流の名前にちなんで構成して下さったそうです。十二支の動物たちは、どの動物もとても表情豊かに集い、子供から年配者まで皆さん楽しんで下さいました。また、手作り品の展示では毛糸や布を使った手芸品から、スタンドグラスやクリスマスグッズまで様々な可愛い小物がところ狭しと展示され、特に女性の皆さんが足を止めてご覧になっていました。手作り

品は即売品もあり、収益はご厚意により一部が会に寄付されました。一方プレゼン会場では、「モン族の話」や「フェアトレードについて」、「台湾紹介」、「F S C」、「房州鎌」、「子供の英会話」等のプレゼンを提供しました。どのプレゼンも入念に用意され興味深い内容で参加者の方々が楽しまれていました。今回は会員ボランティア以外にも土気高校の生徒さんボランティア、プレゼンターもボランティアで参加され、若い活気に溢れたイベントとなりました。ご協力頂いた皆様にこの場を借り、厚く御礼を申し上げます。有難うございました。坂本



私のペット自慢 ～9丁目のなっちゃん～



ロシアブルーのちょっと小柄な女の子（おばあちゃん猫💧）なっちゃん、この夏で 16 才になりました。少し足が弱くなりましたがまだまだ元気です。
Nacchan, our little Russian Blue granny cat just turned 16 this summer. She's gotten a little weaker in the legs, but she's still full of energy.

お知らせ

・通常総会を開催致します

2023.2.19（日）14:00～16:00 あすみが丘プラザ 集会室にて

・年始年末事務所クローズ日：2022.12.23（火）～2023.1.11（水）

オープン は 1月12日(木)からです。

後書き：今年も間もなく終わりますね。皆様のご協力により今年も4回ニュースレターを発行できました。有り難うございました。お読み下さった皆様にも御礼申し上げます。メールで届く反応を読むのが嬉しかったです。さて本年最後のクイズです。ペット自慢に登場した「なっちゃん」ロシアが原産とされるロシアブルーですが第二次世界大戦により激減し絶滅の危機に陥ったそうです。戦後、イギリスやアメリカのブリーダーがブリティッシュブルーと〇〇ネコを交配させることで回復を図ったとのこと、さて〇の中はなんでしょうか。答えは本誌の中、緑の文字です。皆様、どうぞお元気で良いお年をお迎え下さいませ！坂本